

新型コロナウイルス（COVID-19）感染予防対策として、神経伝導・筋電図検査に関する注意喚起

日本臨床神経生理学会
日本神経学会
日本リハビリテーション医学会からの合同提言

2020年4月9日

新型コロナウイルス（COVID-19）感染対策として、飛沫感染、接触感染を避けるために、①換気の悪い密閉空間、②多数が集まる密集場所、③近距離で会話や発声をする密接場面、といういわゆる「3つの密を避ける」ことが2020年3月厚生労働省から注意喚起されています。

神経伝導・筋電図検査は、検査室の環境が①に、検者と患者が電極着脱時・電気刺激時・針電極の挿入時に比較的長時間近接する点が③に該当すると判断されます。

以下の3点にご注意ください。

1) 検査の必要性

各医療施設及び地域の感染に関する状況を踏まえて、各患者の神経伝導・筋電図検査の適応を十分に検討してください。

- 慢性神経疾患や軽微な症状など、検査の結果が診断と治療方針を変える可能性が小さい場合は、検査の延期をご考慮ください。
- 急性疾患で神経伝導・筋電図検査が診断と治療方針の確立に重要と考えられる場合は、適切な感染制御を行える状況において検査を行うことをご考慮してください。
- 上記2項に該当しない状況では担当医に連絡し、検査の必要性を再検討してください。
- 検査を行う前に、発熱の有無の確認、感染者との接触や感染発生現場への訪問などの確認を行い、感染が疑わしい場合は担当医へ報告し検査の必要性を再検討してください。
- 舌の筋電図（オトガイ下アプローチも含む）など口腔内を曝露する検査は基本的に行わないでください。

2) 検査機器と電極

- 検者は常時マスクと手袋を着用し、患者は可能な限りマスクを着用してください。患者は来院時に手指のアルコール消毒を必ず行ってください。
- 筋電計の上には不要な物品を設置しないでください。
- 各検査の前後には、機器の表面をアルコール消毒液または次亜塩素酸ナトリウムで清拭・消毒してください。
- 使い捨て電極の使用を推奨します。

3) 検査室内の環境など

- 検査室は定期的に換気を行ってください。
- 検査中には、検者と患者との会話は必要最小限にしてください。
- 各検査の前後には、ドアノブ、手すり、脱衣かごなど、患者が接触する場所を定期的に清拭・消毒してください。
- 検査ベッドには使い捨てシーツを敷いてください。
- 病衣に着替える必要を減らすため、手足を出しやすい服装で来院してもらうよう事前に通知してください。
- 使用済みの電極・シーツなどは感染性廃棄物用容器に廃棄してください。